

# 岡山市の主な取組状況

平成30年8月27日

# G 2 0 の概要について

## ○開催経緯

- ・リーマンショックを契機に発生した経済・金融危機に対処するため、2008年11月に第1回サミットを開催。
- ・国内初開催となるG 2 0 首脳会議（サミット）は、2019年6月28日（金）～29日（土）に大阪で開催

## ○閣僚会議について

- ・岡山開催の保健大臣会合を含め8会議が開催予定。

開催地	関係閣僚会合名	開催日	招致自治体
岡山市	保健大臣会合	2019年10月19～20日	岡山市
新潟市	農業大臣会合	2019年 5月11～12日	新潟市
福岡市	財務大臣・中央銀行総裁会議	2019年 6月 8～ 9日	福岡市
茨城県つくば市	貿易・デジタル経済大臣会合	2019年 6月 8～ 9日	茨城県
長野県軽井沢町	持続可能な成長のためのエネルギー転換と地球環境に関する関係閣僚会合	2019年 6月15～16日	長野県
愛媛県松山市	労働雇用大臣会合	2019年 9月 1～ 2日	愛媛県
北海道倶知安町	観光大臣会合	2019年10月25～26日	倶知安町
愛知県名古屋市	外務大臣会合	2019年11月22～23日	愛知県

## ○参加国等 ⇒約35か国・地域及び機関（来岡者想定：約250～300人）

メンバー国：G7（日、仏、米、英、独、伊、加、EU）、アルゼンチン、豪、ブラジル、中、印、インドネシア、メキシコ、韓、露、サウジアラビア、南アフリカ、トルコ

招待国や国際機関（6～8か国、7～8機関）

※2017年ドイツの例 招待国：ギニア、オランダ、ノルウェー、セネガル、シンガポール

国際機関：国際労働機関（ILO）、経済協力機構（OECD）、国連、世界保健機関（WHO）等

# 推進体制について

保健大臣会合に向けて、本市の推進本部及びG20岡山保健大臣会合支援推進協議会において、イベントのテーマや企画案を検討し、厚生労働省との協議を行いながら、プレイベント、サイドイベント、エクスカージョン等を実施。

## G20岡山保健大臣会合支援推進協議会（仮称）

### 【目的】

G20保健大臣会合の開催都市岡山市全体として機運醸成やおもてなしの準備等を、官民一体となって推進していくため推進協議会を設置する。

### 【メンバー構成】

市、県、経済団体、大学、保健・医療関係団体、観光・国際・文化関係団体、旅館業、運輸・交通関係、マスコミ、市民団体

### 【体制】

推進協議会（親会）

幹事会

予算・決算、事業方針等に関する実務的な整理を行う

保健・医療部会

プレ・サイドイベント等の企画を行う

※事務局：岡山市G20保健大臣会合推進室

## スケジュールのイメージ

市推進本部

(2018.5 設立)

支援推進協議会

(2018.8 設立)

イベントテーマ・企画（案）

厚生労働省と協議  
(随時)

(2019.3 末)

200日前

プレイベントの実施  
シンポジウム  
子どもサミット  
プレスツアー  
など

(2019年 夏)

100日前

(2019.10.19  
～20)

G20岡山保健大臣会合

歓迎レセプション  
サイドイベント  
エクスカージョン

# ～ 「SDGs未来都市」の選定について ～

## 公募概要

内閣府の地方創生に向けたSDGs推進事業において、自治体によるSDGsの達成に向けた取組を公募し、優れた取組を提案する都市を「SDGs未来都市」として最大30程度選定し、特に先導的な取組を「自治体SDGsモデル事業」として10程度選定する。

【公募期間】平成30年2月26日～3月26日

【内閣府ヒアリング】平成30年5月11日



## 「SDGs未来都市」選定

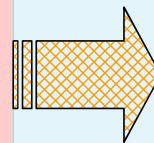
### 岡山市の提案

#### テーマ

誰もが健康で学び合い、  
生涯活躍するまちおかやまの推進

#### 主な事業

- SIBを活用した健康ポイント事業
- 健康見える化事業
- ICTを活用した遠隔健康医療相談事業
- 健康教育推進プロジェクト
- SIBを活用した生涯現役応援事業



### 都市選定



#### 「SDGs未来都市」に選定

- ・全国で29都市が選定（55件の応募）
- ・6月15日に首相官邸にて選定証授与
- ・市庁舎に記念の懸垂幕を掲示
- ・県内では真庭市、中国地方では広島県と宇部市が選定

○全庁的なSDGs推進本部を立ち上げ、まずは健康づくりの取組を推進する。

○2019年のG20保健大臣会合において、本市の健康づくりの取組を世界にPRする

# 「SDGs未来都市」提案事業の具体的な取組みとKPIの設定

持続可能性を担保するために重要となる三側面（経済、社会、環境）を踏まえた具体的事業を展開することで目標値の達成を目指す。

## 岡山SDGsにより 目指す効果

### 経済

- ・新たなマーケット、  
新たなビジネスモデル  
の創出

### 社会

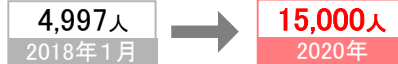
- ・健康寿命の延伸、  
医療費等の削減

### 環境

- ・ESDを活用した市民  
活動の活性化、市民  
の活躍の場の創出

## KPI

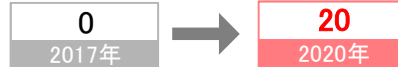
### ●健康活動の習慣化に取り組む人の数



### ●健康教育受講者数



### ●新たな健康づくり事業 に参画した企業数



### ●自らの健康リスクを 把握している人の割合



### ●児童の軽症救急搬送件数



### ●就労・社会参加につなげた 高齢者等の人数



## 具体的取組み

### 1. 個人の健康づくりから「地域の健康づくり」へ



#### 健康教育推進プロジェクト

- ✓ ESDの成功事例を健康づくりに横展開する。医師会や薬剤師会などと協働して、地域の支え合いを通じた地域で健康になる取組を実現

### 2. 推奨する健康増進から「実行する健康増進」へ



#### SIBを活用した健康ポイント事業

- ✓ フィットネスや飲食事業者等による運動、栄養などの具体的な健康づくりサービス創出を促進(社会的投資推進財団、中国銀行やNPO法人等と事業実施予定)



#### 健康見える化事業

- ✓ 過去3年分の健康診断データをAIが解析し、将来的な健康リスクを示唆し、その人に適した生活習慣改善メニューを提示するシステムを構築((株)タニタヘルスリンク、(一財)淳風会と事業実施予定)



#### ICTを活用した遠隔健康医療相談事業

- ✓ 不安から救急を使用することが多い小児医療でスマートフォン等で気軽に健康医療相談ができる環境を整備((株)Kids Publicと事業実施予定)

### 3. 健康が最終目標から「健康、そして活躍」へ

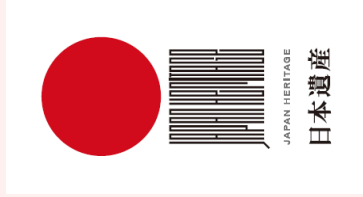


#### SIBを活用した生涯現役応援事業

- ✓ 年齢や性別、抱えている課題を問わず就労等に結び付け、地場企業の担い手不足を解消(社会的投資推進財団、中国銀行やNPO法人等と事業実施予定)

これらを、新たに立ち上げるSDGs推進本部で全市的に推進





◆◆◆日本遺産認定◆◆◆

「桃太郎伝説」の生まれたまち おかやま  
～古代吉備の遺産が誘う鬼退治の物語～

# 桃太郎伝説

◆認定ストーリーの概要

いにしえに吉備と呼ばれた岡山。この地には吉備津彦命による温羅と呼ばれる鬼を退治した伝説が語り継がれ、昔話桃太郎の原型になったとされる。伝説では、絶壁にこそびえる古代山城は温羅の居城とされ、約 1800 年前の巨大墓に立ち並ぶ巨石は命の桶となった。戦いの後、勝利した命は巨大神殿に祀られ、敗れた温羅の首はその側に埋められ、この地で吉凶を占っている。

鬼退治伝説は古代吉備の繁栄と屈辱の歴史を背景として生み出され、伝説の舞台となった吉備の多様な遺産は、今も訪れる人々を神秘的な物語へと誘ってくれる。

岡山市・倉敷市・総社市・赤磐市共同申請



鬼城山（鬼ノ城）（総社市）



楯築遺跡（倉敷市）



岡宮山古墳（赤磐市）



吉備津神社（岡山市）

岡山市産業観光局観光部プロモーション・MICE推進課

〒700-8544 岡山市北区大供一丁目1番1号

TEL086-803-1333 Fax086-803-1871 E-mailpromotion@city.okayama.lg.jp

## 27 の構成文化財

### ■岡山市の構成文化財

～吉備津神社～



吉備津彦命を祀る神社で、鳥が翼を広げたように見える。比翼入母屋造の秀麗な本殿は、拝殿とともに国宝に指定されている。

～吉備の中山～



温羅との戦いで吉備津彦命が布陣したと伝承されている。山裾には吉備津神社や吉備津彦神社が鎮座し、山頂には吉備津彦命の墓とされる中山茶臼山古墳がある。

～矢喰宮～



温羅伝説の中で、吉備津彦命と温羅の射た矢が空中で衝突し、落下した場所に祀られた神社。神社の境内には温羅が投げたと伝えられる巨石も残されている。

～吉備津彦神社～



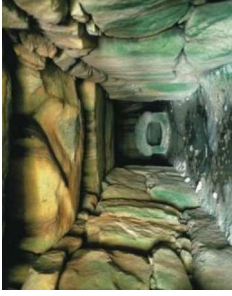
吉備津彦命を祀る神社で、吉備国が備前・備中・備後に分割された際に備前一宮として建てられたとされる。境内の温羅神社に温羅も祀られている。

～造山古墳～



吉備勢力の強大さを伝える巨大前方後円墳。5世紀前半に造営され、規模は全長約350mと全国第4位で、吉備に巨大勢力があったことを伝える。

～牟佐大塚古墳～



吉備三巨石墳の一つ。6世紀末ごろに造られた大形の円墳で横穴式石室も全長18.0mと巨大。吉備津彦命の子孫とされる上道氏の墓と考えられている。

～岡山の桃～



古くから鬼は桃を恐れるとされており、桃太郎とのつながりも想像させる。岡山は、日本有数の桃の産地で、栽培に適した気候・風土の中で桃太郎伝説が育まれてきた。

～きびだんご～



桃太郎伝説の地・岡山を代表する銘菓。桃太郎が鬼退治の際に犬・猿・雉に与えた黍団子をモチーフとし、江戸時代には販売されていた。「吉備」の地名も、「黍」に由来するとの説がある。

～上東遺跡出土の桃の種～



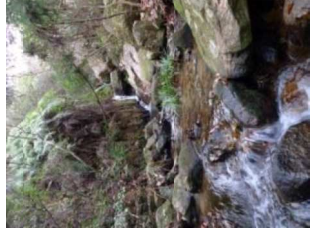
弥生時代の上東遺跡から出土した9,606個の桃の種。一つの遺構から出土した数では全国的にも群を抜いて多く、古くから岡山と桃のつながりが深かったことをうかがわせる。

～特殊器台～



吉備文化の独自性を象徴する考古資料で、弥生時代後期に吉備で葬送の祭りに使用された土器。温羅伝説ゆかりの楯築遺跡や鯉喰神社でも出土している。

～血吸川～



鬼城山を源流とする川で、吉備津彦命との戦いで傷ついた温羅の血が流れて真っ赤になったと伝えられ、下流には「赤浜」の地名も残る。

### ★その他の岡山市の構成文化財

- ・矢置岩と矢立の神事 ・吉備津宮勸進帳 ・備中国大吉備津宮略記 ・吉備津神社御釜殿 ・鳴釜神事
- ・吉備津神社境内古図 ・吉備津神社の鬼面

### ■倉敷市の構成文化財

- ・楯築遺跡 ・楯築神社の旋帯文石 ・鯉喰神社 ・箭田大塚古墳 ・岡山の桃 ・きびだんご
- ・鬼城山(鬼ノ城) ・鬼の釜 ・血吸川 ・作山古墳第一古墳 ・こうもり塚古墳
- ・岡山の桃 ・きびだんご

### ■総社市の構成文化財

### ■赤磐市の構成文化財

- ・両宮山古墳 ・岡山の桃